

宮城の地場産品復興支援「手のちから」プロジェクト

プロジェクト代表者：菊 地 良 覺¹⁾

プロジェクト参加者：伊 藤 美由紀²⁾・舩 岡 和 夫³⁾・佐 藤 明⁴⁾

プロジェクト連携先：中 島 敏 (ジーマ代表)

みやぎ地場産品開発流通研究会

秋保地域活性化協議会「手しごと AKIU」

NPO 法人 地・LOHAS 推進会議

NPO 法人 東北みち会議

宮城県産業技術総合センター (商品開発支援班)

Project “The Power of the hands” of local products Miyagi reconstruction assistance

Abstract

This research project has been the major task in the reconstruction of local products and the loss of East Japan Earthquake place. While supporting each other, working on the basis of medium-term and long-term reconstruction plan short-term unions and individuals engaged in the craft of Miyagi products work together in particular, are characterized. More specifically, in addition to hand tie the relationship between the creator and caster, has been the deployment of the design of new tailored design and distribution, has been described in detail the nature of its practice.

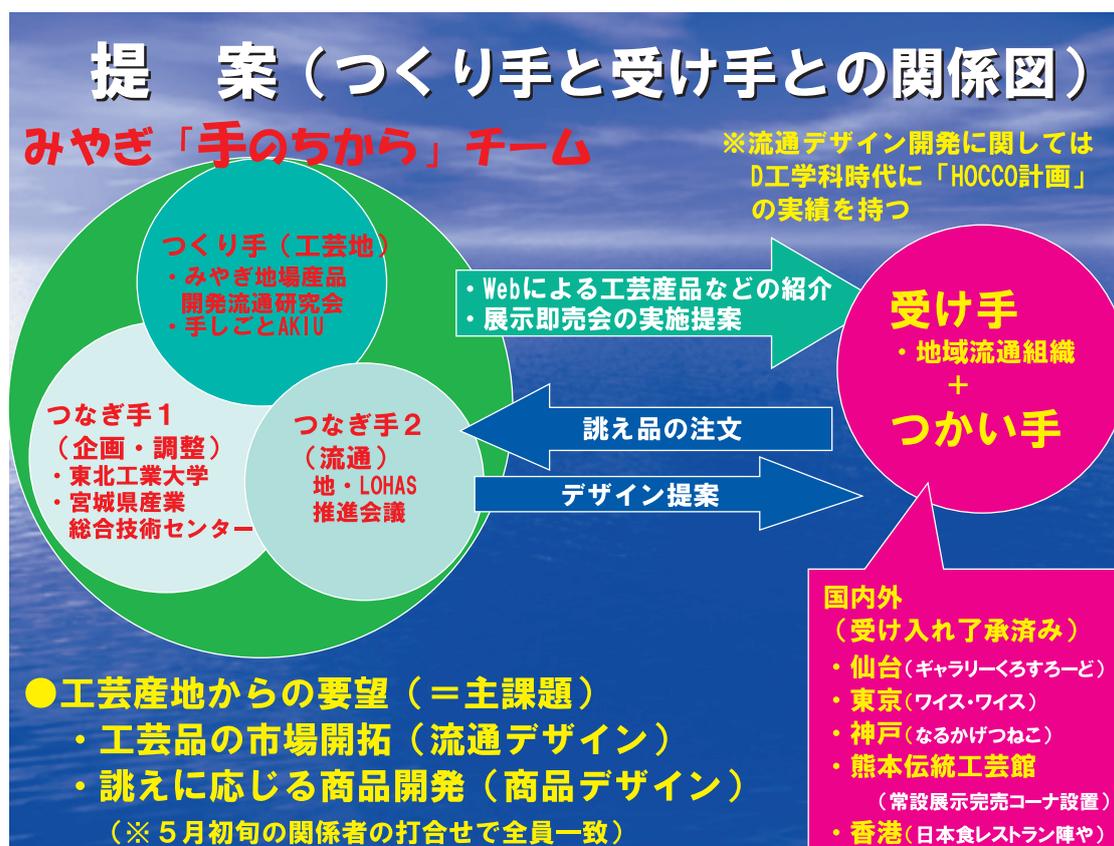
1. はじめに

東日本大震災は、多くの犠牲者と暮らしと生産の基盤にも甚大な被害をもたらし、長時間を要する復興と筆者らは捉えている。宮城の伝統的工芸産地も同様に、産地による被害状況は異なるが、雄勝硯生産販売協同組合（国指定伝統工芸品）のように作り手と生産設備の壊滅的な消失を受けた産地や、被害は少ないが観光客激減により販路を閉ざされた産地も多く続出した。筆者らは、地域の伝統的な手仕事を主体にした技術や美意識に裏打ちされた工芸品は、地域の貴重な産業のひとつとして位置づけている。本プロジェクトでは、県内の主な工芸の産地である秋保・雄勝・津山などを主な対象地域とし、被害状況を見据えた段階的（短期・中期・長期）な復興支援が必要と捉えている。具体的な解決策としては、産地間の協働と企画流通の専門化や本学学生との協働で、新たな商品開発や流通開発等の復興の途を具体的な行動計画をたて、推進することにした。その内容を以下に詳述する。

1) 東北工業大学 ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科 教授
2) 東北工業大学 ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科 准教授
3) 東北工業大学 ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科 客員教授
4) 東北工業大学 新技術創造研究センター 事務長

2. 復興を推進するための主課題と作り手・使い手・つなぎ手の関係提案

震災から二ヶ月後に、これまで大学関係者が関与してきた産地組合や個人の工芸を生業とする生産者と企画・流通を専門とする方々で、今後の復興策と具体的な行動計画の検討を宮城県産業技術総合センターで行った。そこで全員一致を見た内容は、「市場開拓（流通デザイン）」と「詠えに応じた商品開発（商品デザイン）」を行いつつ、甚大な被害を受けた雄勝硯生産販売協同組合の支援（義援金の獲得）を行うことである。従って、作り手同士の協働関係の新たな体制構築と使い手（消費者）との詠え商品とその流通の関係を図1に示す内容とした。



図－1

作り手側の体制は、みやぎ地場産品開発流通研究会（鳴子漆器協同組合＋岩出山竹細工生産組合＋津山木工芸品事業協同組合＋雄勝硯生産販売協同組合とその地域の自治体大崎市・登米市・石巻市）と秋保地域活性化協議会「手しごとAKIU」（18人の工人の組織）からなる。企画展示会や流通は、NPO法人 地・LOHAS推進会議が担い、構想や企画調整等を本学のプロジェクトチームと宮城県産業技術総合センター（商品開発支援班）が行うことにした。尚、消費者（使い手）へのアプローチ方法は、「Webによる商品紹介」と「国内外での企画展示販売」等で推進することにした。ちなみに、このような企画流通デザインの方法は、菊地と舩岡が工業意匠学科時代の共同研究室（第三生産技術研究室）が1979年から開始した東北・北海道の産品開発と流通に関する実践的研究を行ってきており、長年にわたるノウハウがあって実現可能と判断しての決断である。

本プロジェクトの復興に対する効果は、「1. 個人及び産地間の新たな協働体制の構築による産学官による共同化創出」「2. 新たな販路拡大と新商品開発の提案による繋がりある作り手と使い手の創出」「3. 工芸によるみやぎの新たなブランド形成（長期の持続的活動で形成）」と位置づけ、作り手同士の協働と作り手・使い手・つなぎ手のよりよい関係の再構築も主眼として取り組むことにした。

3. プロジェクトの具体的な実施内容

復興に関しての実践的メニューは、以下に示す4つの項目（Webによる通販サイト・展示即売会・被災地での復興支援活動・他の支援事業獲得による事業）を重点的に行ってきており、その内容を詳述する。

3.1 Webによる通販サイトの開設

Webサイトには、以下に示す内容で呼びかけ、その内容は「日本は幾多の不幸な災害から、人びとの知恵と行動力で復興し発展してきました。あらゆるものに効率性を求め、経済発展を成し遂げてきましたが、一方、我々東北工業大学グループでは、美しさや品質、機能性にこだわり生活者視点でのものづくりを提唱してきたところです。我々は、この未曾有の大震災に見舞われたこのような時期だからこそ、生活にとって必要なもの、大切なもの、そして暮らし方について見直したいと考えております。この度、あらためて地域の素材を活かし、歴史や風土、美意識に培われた、手仕事を主体にした工芸品の復興・復権を目指した活動を行うことにしました。東北の工芸品を全国の皆様に知っていただき、使っていただき、暮らしに潤いをとの願いから「手のちから」プロジェクトを立ち上げました。復興ためには「つくり手」、「つかい



Webのトップページ

手」、「つなぎ手」の「手のちから」が必要です。この「手のちから」の結び付きを大切に、被災した工芸産地を支援したいと考えております。東日本大震災から一年。工芸の産地も復興のシナリオが描かれ、一步を踏み出す環境が整えられつつあります。一層の支援をお願いいたします。「手のちからオンラインショップ」は、東北の工芸産地や「つくり手」と、手仕事をこよなく愛する「つかい手」の皆さまをつなぐ通販サイトです。一品のオーダーメイドから、企業等のCSR等の量産にも対応いたします。」としている。

尚、内容の特徴としては、「kibou」プロジェクト商品を「21%主義」とし、売り上げの79%をつくり手へ、21%のうち7%が義援金に、7%がHPの製作・運営費とし、残りの7%を出展に声掛けをしてくださった方々の活動費に充当することにした。もう一つの特徴としては、定期的につくり手にスポットを当てた特集「つくり手の肖像」を組んでいる。現在までの紹介としては、仙台筆筒詠處・熊野洞の熊野彰氏、観古洞の渡邊榮氏の計

2回の特集を掲載している。併せて、ブログ、ツイッターを活用した販促活動を行っており、各作家関連のイベントや、作品の紹介などをブログに随時掲載し、また、ツイッターでも作品の紹介を1日1回行っている。検索数に関しては表2に示した通りであり、月別ごとのアクセス数・販売数・販売金額は表1に示した。Web開設した時点ではアクセス数や販売数は少なかったが、年明け後からアクセスが増し、復興を願ってのオリジナルこけしの謎え商品の注文が特に多くなった。今後は、より作り手の情報を提供すると共に、つかい手側の立場を考えた「使い方のデザイン」情報を組み込んだ内容を目指すことになっている。

表1

年 月	アクセス数 (人)	販売数 (点)	金 額 (円)
2011年7月	438	2	5,200
8月	719	8	28,350
9月	842	11	76,875
10月	649	1	3,800
11月	877	215	680,000
12月	663	98	48,849
2012年1月	815	3	7,280
2月	502	6	29,400
3月	532	1	3,150



11月は東京の企業が行っている復興支援の一環として、オリジナルこけし「福光こけし」を玩愚庵こけし屋に制作を頂き、「手のちから」でプレゼント用包装をし、発送。

表2 手のちからホームページ キーワード検索状況
(2011年6月～2012年3月：検索数の多いキーワード順位)

順位	キーワード	訪問数	訪問別 ページビュー	訪問の平均 滞在時間	新規訪問の 割合	直帰率
1.	手のちから kibou	132	5.84	00:04:56	2.27%	21.97%
2.	手のちから	124	5.62	00:03:25	21.77%	29.84%
3.	鳴子漆器	95	4.28	00:01:13	82.11%	50.53%
4.	一文字盆	89	4.24	00:03:23	59.55%	61.80%
5.	手編み ベスト	72	1.11	00:00:06	94.44%	91.67%
6.	手のちからプロジェクト	69	5.58	00:03:49	21.74%	20.29%
7.	ガラス工房 元	62	3.39	00:01:13	77.42%	48.39%
8.	kibou プロジェクト	56	5.57	00:01:47	73.21%	41.07%
9.	佐藤元洋	50	2.66	00:01:15	44.00%	50.00%
10.	茶卓	41	1.27	00:00:05	100.00%	87.80%
11.	手のちから kibou プロジェクト	40	5.35	00:06:15	5.00%	30.00%
12.	鈴木明 こけし	37	3.86	00:01:28	64.86%	35.14%
13.	三輪田窯	34	3.26	00:01:20	76.47%	58.82%
14.	懐石盆	29	3.90	00:00:56	75.86%	75.86%
15.	玩愚庵こけし屋	27	5.19	00:02:33	33.33%	44.44%
16.	ガラス工房元	25	2.16	00:02:39	76.00%	60.00%
17.	銘々盆	25	1.20	00:00:02	96.00%	92.00%
18.	鳴子漆器協同組合	22	2.55	00:00:41	86.36%	40.91%
19.	亀山英児	21	5.19	00:00:56	80.95%	61.90%
20.	茶心壺	21	1.90	00:00:27	66.67%	71.43%
21.	こけし 鈴木明	20	3.00	00:00:27	60.00%	45.00%
22.	後藤常夫	20	3.60	00:00:56	100.00%	40.00%
23.	銘々皿とは	20	1.00	00:00:00	100.00%	100.00%
24.	(not provided)	19	3.68	00:02:59	84.21%	73.68%
25.	ふくろう 時計	19	1.00	00:00:00	94.74%	100.00%
26.	へちま襟	18	1.11	00:00:15	88.89%	88.89%
27.	手のちから kibou	18	8.22	00:05:13	77.78%	38.89%
28.	鳴子漆器 販売	17	3.65	00:03:10	88.24%	29.41%
29.	藍染 マフラー	16	1.06	00:00:06	93.75%	93.75%
30.	玩愚庵こけし屋 鈴木明	15	1.27	00:00:01	0.00%	86.67%
31.	石神彫刻工房	15	2.47	00:06:10	73.33%	53.33%
32.	池田匡優	15	2.13	00:00:07	80.00%	66.67%
33.	ふくろう時計	13	1.15	00:00:01	92.31%	84.62%
34.	酒器 ガラス	13	1.08	00:00:01	100.00%	92.31%
35.	木のしゃもじ	13	1.38	00:00:12	92.31%	84.62%
36.	玩愚庵	12	2.58	00:00:33	33.33%	66.67%
37.	宮城発手のちから	12	7.75	00:02:44	100.00%	33.33%
38.	大場拓俊	12	2.08	00:00:16	91.67%	66.67%
39.	木のしごと 樹々	12	1.67	00:00:08	75.00%	66.67%
40.	櫛 お盆	12	1.00	00:00:00	91.67%	100.00%
41.	ガラス 酒器	11	1.55	00:00:06	100.00%	81.82%
42.	園田知暁	11	2.45	00:01:00	81.82%	54.55%
43.	音吉篠笛	11	3.82	00:03:45	18.18%	63.64%
44.	三輪田窯 亀山英二	11	3.82	00:00:45	18.18%	27.27%
45.	漆器 ぐい呑み	11	1.09	00:00:01	100.00%	90.91%
46.	手編みベスト	11	1.18	00:02:02	100.00%	81.82%
47.	小箆筒	11	1.55	00:00:11	81.82%	81.82%
48.	池田 匡優	11	3.18	00:00:19	90.91%	63.64%
49.	鳴子漆器 価格	11	1.73	00:00:24	81.82%	63.64%
50.	剝物	11	1.27	00:01:57	81.82%	72.73%
51.	こけし サイズ	10	1.10	00:01:47	70.00%	90.00%

52.	玩愚庵こけし	10	6.50	00:05:39	30.00%	10.00%
53.	薫陶土	10	3.80	00:02:51	80.00%	40.00%
54.	仙台箆笥 熊野洞	10	2.50	00:01:34	100.00%	60.00%
55.	編み物 襟	10	1.00	00:00:00	100.00%	100.00%
56.	ギャラリー石神窯	9	2.67	00:00:28	100.00%	44.44%
57.	へちま襟 ベスト	9	1.00	00:00:00	88.89%	100.00%
58.	音吉 篠笛	9	3.22	00:00:41	77.78%	33.33%
59.	雅堂窯	9	7.56	00:01:18	66.67%	44.44%
60.	玩愚庵 こけし 鈴木明	9	1.56	00:00:45	0.00%	66.67%
61.	熊野洞 箆笥	9	3.44	00:01:42	100.00%	11.11%
62.	手編み 編み込み	9	1.22	00:00:04	55.56%	77.78%
63.	陶器 コーヒーサーバー	9	1.00	00:00:00	100.00%	100.00%
64.	本郷けい子	9	3.22	00:01:23	88.89%	33.33%
65.	万華鏡 佐藤元洋	9	2.22	00:00:42	44.44%	55.56%
66.	ニット 花	8	1.50	00:00:06	100.00%	87.50%
67.	菓子器 木製	8	3.00	00:01:11	50.00%	62.50%
68.	玩具庵こけし屋	8	3.50	00:04:55	75.00%	50.00%
69.	宮城発手のちから kibou プロジェクト	8	5.88	00:01:59	50.00%	25.00%
70.	篠笛 音吉	8	3.75	00:01:39	62.50%	62.50%
71.	篠笛 調律	8	1.75	00:00:09	87.50%	87.50%
72.	手編みのベスト	8	1.00	00:00:00	100.00%	100.00%
73.	親子箸	8	1.00	00:00:00	100.00%	100.00%
74.	名刺盆	8	1.00	00:00:00	87.50%	100.00%
75.	鳴子漆器 箸	8	3.38	00:04:26	100.00%	25.00%
76.	木の箱	8	6.12	00:01:29	75.00%	75.00%
77.	kibou プロジェクト	7	9.29	00:05:07	71.43%	0.00%
78.	クラフトショップもくもくハウス	7	1.86	00:01:19	85.71%	71.43%
79.	ミニトレー	7	2.43	00:00:22	100.00%	71.43%
80.	観古洞	7	1.14	00:00:02	0.00%	85.71%
81.	篠笛音吉	7	3.43	00:05:32	42.86%	57.14%
82.	鳴子漆器 値段	7	1.57	00:00:21	85.71%	71.43%
83.	http://www.kibou-tohoku.net/	6	4.33	00:00:43	100.00%	33.33%
84.	kibou	6	1.00	00:00:00	100.00%	100.00%
85.	こけし 通販 鈴木明	6	11.17	00:01:32	16.67%	16.67%
86.	こけし屋	6	3.50	00:04:16	100.00%	83.33%
87.	ニット ベスト 手編み	6	1.50	00:00:07	33.33%	83.33%
88.	へちま襟 ベスト	6	1.00	00:00:00	83.33%	100.00%
89.	マグカップ 水色	6	1.83	00:00:28	33.33%	66.67%
90.	ゑみし窯	6	4.83	00:00:53	83.33%	50.00%
91.	音吉屋ふえ工房	6	6.17	00:01:58	83.33%	50.00%
92.	玉川遠州流	6	1.17	00:03:12	100.00%	83.33%
93.	熊野彰	6	1.83	00:02:46	83.33%	33.33%
94.	漆 ぐい呑み	6	1.00	00:00:00	100.00%	100.00%
95.	石んこ	6	2.50	00:00:22	100.00%	83.33%
96.	地・lohas 推進会議	6	5.50	00:02:57	83.33%	83.33%
97.	東北支援 手のチカラ	6	1.83	00:00:43	16.67%	66.67%
98.	平泉正司	6	2.17	00:00:43	100.00%	50.00%
99.	編み物 カーディガン	6	1.00	00:00:00	83.33%	100.00%
100.	鳴子 漆器	6	5.67	00:02:57	100.00%	66.67%
101.	藍染マフラー	6	2.33	00:01:07	66.67%	66.67%
102.	櫛 盆	6	1.17	00:00:01	100.00%	83.33%
103.	ガラスのペンダント	5	1.80	00:00:11	100.00%	80.00%
104.	伊達箆笥	5	3.20	00:00:42	100.00%	60.00%
105.	一輪挿し	5	2.00	00:00:46	100.00%	60.00%

106.	河北工芸展	5	2.80	00:00:34	60.00%	60.00%
107.	佐藤元洋 工房	5	4.00	00:01:10	100.00%	20.00%
108.	篠笛 ドレミ	5	1.40	00:00:36	100.00%	80.00%
109.	手編み ニットベスト	5	1.00	00:00:00	100.00%	100.00%
110.	手編みニットベスト	5	1.00	00:00:00	100.00%	100.00%
111.	手編みのカーディガン	5	1.80	00:00:16	100.00%	80.00%
112.	石神窯	5	4.40	00:01:11	80.00%	60.00%
113.	仙台筆筒	5	7.40	00:01:07	100.00%	60.00%
114.	仙台筆筒 熊野	5	1.00	00:00:00	80.00%	100.00%
115.	渡辺幸子	5	1.00	00:00:00	100.00%	100.00%
116.	渡邊つる子	5	1.40	00:00:33	80.00%	80.00%
117.	鳳声晴由	5	1.60	00:00:25	100.00%	80.00%
118.	木のしごと樹々	5	3.00	00:01:02	100.00%	0.00%
119.	藍染め マフラー	5	1.40	00:00:09	100.00%	80.00%
120.	鈴木明こけし	5	7.00	00:01:41	40.00%	20.00%
121.	櫻 丸盆	5	1.60	00:00:16	80.00%	60.00%
122.	櫻お盆	5	1.40	00:00:07	100.00%	60.00%

3.2 企画展示、即売会

作り手の商品を使い手側に直接商品の良さを知らせる手段としては、展示即売会の開催が不可欠とのことから、国内外を問わずに協力していただける被災しない地域の関係組織への協力要請を行ったところ、香港の日本料理店・神戸のボランティア組織等や仙台（ギャラリーくろすろーど、本学一番町ロビー）で開催の実現を見ることが出来た。特に神戸のボランティア支援団体は阪神大震災時に、全国からの多くの支援を受けた経験から、被災地への支援物資提供活動を今回行っている。2箇所での展示即売会には二つ返事で快諾を得て実現した（写真1・2）。

仙台では本学一番町ロビーにおいては、売り上げの一部を震災復興のための義援金として拠出する条件で、「秋保の蕎麦と器展」「岩手・大野木工グループの食育と木工食器展」開催した。（写真3・4）今後は、熊本伝統工芸館において常設展示販売を実施する計画としている。



写真1：神戸の展示即売会より

～未来へ 私たちは記憶する～

- ・開催期間：H 24 年 1 月 17 日～2 月 21 日
- ・神戸市在住の陶芸家、津軽塗り作家、クラフト作家の作品加え、「手のちから」の作品を展示販売
(神戸:ギャラリー&喫茶「あいうゑむ」にて)
(写真2)



～食育と木工食器展～

- ・開催期間：H 24 年 1 月 13 日～1 月 18 日
- ・本学デザイン工学科が関与してきている、岩手大野（現洋野町）の木工による学校給食とこれからの食の安全安心を考える学校給食のワークショップを開催。
(仙台:本学一番町ロビーにて) (写真3)



～第2回手しごと秋保彩り展～蕎麦と器と観光と～

- ・開催期間：H 23 年 9 月 9 日～14 日
- ・農業—工芸—観光を結び地域の魅力づくりを目指した展示会。ワークショップも同時開催
主催は手しごと AKIU、SD 学科が共催 (仙台:本学一番町ロビーにて) (写真4)



3.3 被災地での復興支援活動

被災地での復興支援に関しては、当初の事業計画に組み込んではいなかったが、被災地側からの強い要請もあり、学生の力を引き出す狙いも視野に入れ、各種の復興支援に取り組むことにした。一つは南三陸町の復興支援活動である。津山の木工生産に従事する西條幸一氏（登米市物産協会副会長・津山もくもくランド駅長）とNPO東北みち会議（代表高井）の発案で全国の道の駅に復興支援物資の提供呼びかけた結果、北海道から九州の100箇所から支援を得られ、その展示即売会を津山もくもくランドで実施した。参加学生はSD学科とボランティア部の述べ78名であり、会場設営から販売と各種イベントのサポートに4日間関与した（写真5）。次に紹介するのは、作り手側への生産参加である。具体的には、津山木工芸品事業協同組合員の西條工房での「箸づくり」である。工房に7日間宿泊し、10名のSD学科学生が製作に取り組み1000膳の箸を完成させている（写真6）。3つ目は、秋保地区で毎年2月に実施されてきた「雪んこ祭り」である。この祭りは、本来は地域内の世代間交流を通じて地域内のコミュニティ形成の行事であり、繋がりを高めるためのものであったが、今回の大震災を契機に復興支援活動の一環として被災地の子どもたちを受け入れるという新たなミッションとして位置づけていることから、本学のミッションに相応しいと考え、学生に参加を呼びかけた。その結果、津山と同様にSD学科とボランティア部が会場設営や歓迎雪像づくりなどに総計で96名が参加した（写真7）。これらの支援行事で言えることは、本学学生の手のちからが優れていることである。地域側からの評価も高く、次年度以降も是非とも協力要請したいとのことである。教育と言う目線からすると、ヒトやモノとコトに対する学生の観かたが変わったのは確かと支援に関与した数人の本学教職員も一致を見ており、ミッションを高めるための正課外活動と言える。



(写真5) ～南三陸町支援 「福興市」～

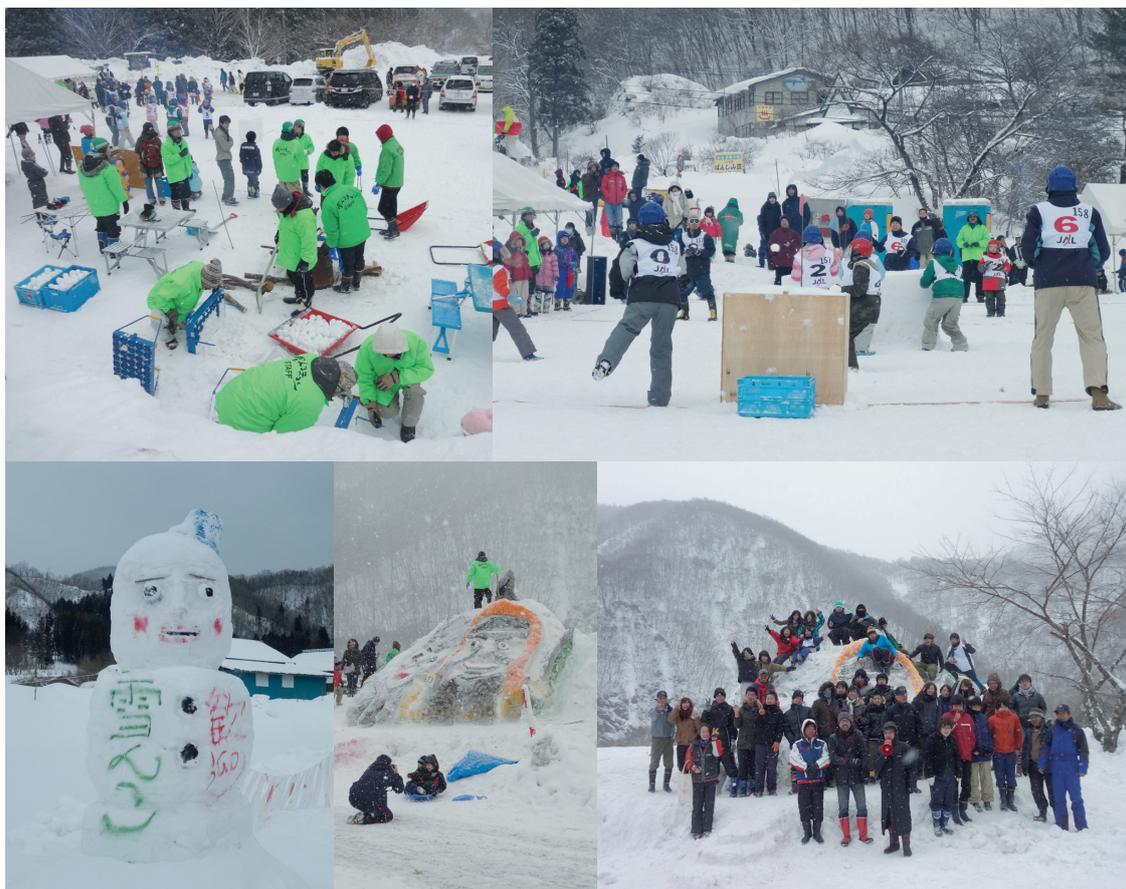
- ・実施日：H 23年9月16日～19日
- ・場所：津山もくもくランド内
- ・全国100箇所の道の駅から販売物資が集まる
- ・参加学生延べ人数：
SD学科+ボランティア部=計78名





(写真6) ～ 箸づくり支援ボランティア～

- ・実施日：H 23年8月22日～28日
- ・場 所：津山町西條工房
- ・参加学生延べ人数：SD学科2年生 10名



(写真7) ～秋保雪んこ祭り 2012「被災地の子どもたちに夢を」～

- ・実施日：H 24年2月12日
- ・会 場：秋保ビジターセンター前広場
- ・主 催：豊かな住みよい秋保づくり協議会（雪んこまつり実行委員会）・仙台市
- ・学生は開催の3日前から「歓迎雪像づくり」「そりすべりや雪合戦の会場づくり」等の設営と運営等に積極的に参加し、地元住民から高い評価を得た

3.4 他の支援事業獲得による事業

本プロジェクトを推進するために他の支援事業費を獲得（各150万円）し、実践した内容を以下に示した。二つとも赤い羽根「災害ボランティアNPO活動サポート基金」を活用し実現したものである。本プロジェクトの流通部門を担うNPO法人地・LOHAS推進会議（代表：近江美保氏）が企画運営と、本学SD学科の4年生5名の学生サポーターとの協働で実践している。具体的には、保育所では親子で雄勝石と再生塗料で「My箸置きづくり」（写真8）と仮設住居で津山の杉材で「My表札作り」（写真9）である。両方とも被災産地材の活用と被災した施設や個人を支援するものであり、参加者からは大変好評であり、感謝の声を受けている。



（写真8）～被災地幼稚園に箸置きを～

- ・雄勝硯石を活用し、被災した幼稚園児がオリジナルな箸置きをディンプル絵の具で作成。（5施設で実施）
- ・素材提供の雄勝硯生産販売協同組合も支援



（写真9）～表札づくりプロジェクト～

- ・仮設住宅入居者・避難者のための復興とコミュニティ再生及び活性化を目指す
- ・津山杉材を活用し、入居者自ら表札を製作する（5会場で実施）

4. 初年度における実施効果と次年度以降の実施計画内容に関して

本プロジェクトは、そもそも被災した作り手を如何に支援できるかが主課題としている。しかし、この1年間諸事業に取り組んできた結果、当初打ち出した効果以外の成果と今後の課題として、プロジェクトに参加した関係者から声をまとめた。

- ・ Webに関しては、復興支援をする内容と作り手や商品の使い手の立場にたったデザイン提案が望まれる。併せて、作り手側の参加者を増やす方策が必要である。
- ・ 展示会に関しては、遠隔地での展示は、経費がかかるため、スポット的な短期の展示即売会は、受け入れ側が積極的に企画展示をすることを前提にして、組み立てたほうが良い。当初から計画に入れてある、熊本伝統工芸館での1年間の常設展示即売会は、是非実現する。
- ・ 学生との協働による支援は、受け手側から、学生への高い評価を受けた。また、参加した学生からも、達成感と地域の方々との信頼関係が構築できたことが、最大の成果といえる。次年度以降も、是非とも「学生の手のちから」を引き出したい。
- ・ 本学のプロジェクト支援費のみならず、他の支援事業費獲得も積極的に行い、特に甚大な被害を受けた雄勝の支援を関係者で行いたい。

復興支援は、長い時間を要すると捉えている。作り手～使い手～つなぎ手とが一体となり協働による「知恵と技」を駆使し、今後も本プロジェクトに取り組んでいくことで、参加者全員の一致を見ている。